

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年10月13日 (2011.10.13)

【公開番号】特開2010-59244(P2010-59244A)

【公開日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2008-223776(P2008-223776)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月31日 (2011.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

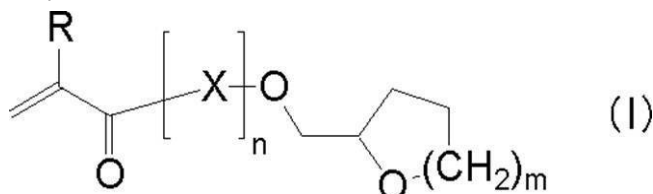
(A) 下記一般式 (I) で表される重合性化合物と、

(B) (A) 成分とは構造が異なる重合性化合物と、

(C) 光開始剤と、

を、含有し、前記 (A) 成分と (B) 成分との合計含有量が、インク組成物の全質量に対し 70 質量 % 以上であるインク組成物。

【化 1】



一般式 (I) 中、R は水素原子またはメチル基を表し、X は 2 価の有機基を表す。m は 1 または 2 の整数を表し、n は 1 ~ 20 の整数を表す。

【請求項 2】

前記 (A) 成分と (B) 成分との合計含有量が、インク組成物の全質量に対し 70 質量 % 以上 90 質量 % 以下である請求項 1 に記載のインク組成物。

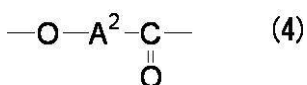
【請求項 3】

前記 (A) 成分の含有量が、インク組成物の全質量に対し 1 質量 % ~ 50 質量 % の範囲である請求項 1 又は請求項 2 に記載のインク組成物。

【請求項 4】

前記一般式（Ⅰ）におけるXが、下記一般式（3）又は一般式（4）で表される2価の有機基ならびにこれらを複数組み合わせる構成される基である請求項1～請求項3のいずれか1項に記載のインク組成物。

【化2】



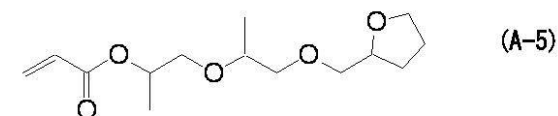
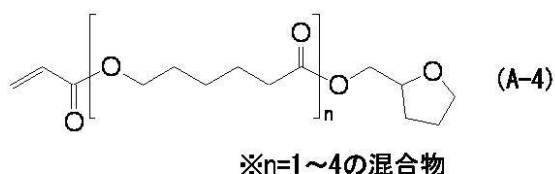
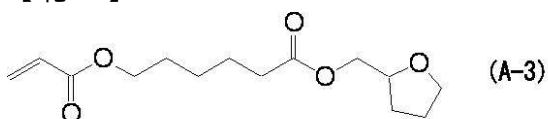
一般式（3）中、 A^1 は直鎖状または分岐鎖を有する炭素原子数2～4のアルキレン基を表す。

一般式（4）中、 A^2 は直鎖状または分岐鎖を有する炭素数2～8のアルキレン基を表す。

【請求項5】

前記（A）成分として、下記（A-3）、（A-4）、（A-5）、および（A-9）から選ばれる少なくとも1種の重合性化合物を含有する請求項1～請求項4のいずれか1項に記載のインク組成物。

【化4】



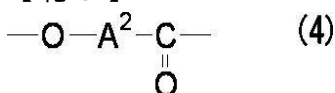
【請求項6】

前記（B）成分として、N-ビニルカプロラクタム、イソボルニルアクリレート、2-フェノキシエチルアクリレート、およびトリデシルアクリレートからなる群より選ばれる少なくとも1種の重合性化合物を含有する請求項1～請求項5のいずれか1項に記載のインク組成物。

【請求項7】

前記一般式（Ⅰ）におけるXが、下記一般式（4）で表される2価の有機基または一般式（4）で表される2価の有機基を複数組み合わせる構成される基である請求項1～請求項3のいずれか1項に記載のインク組成物。

【化3】



一般式（4）中、 A^2 は直鎖状または分岐鎖を有する炭素数2～8のアルキレン基を表

す。

【請求項 8】

(D) 着色剤をさらに含有する請求項 1 ~ 請求項 7 のいずれか 1 項に記載のインク組成物。

【請求項 9】

インクジェット記録用である請求項 1 ~ 請求項 8 のいずれか 1 項に記載のインク組成物。

【請求項 10】

(i - 1) 被記録媒体上に、請求項 9に記載のインクジェット記録用インク組成物を吐出する工程、及び、

(i - 2) 吐出されたインクジェット記録用インク組成物に活性放射線を照射して、該インク組成物を硬化する工程、

を含むことを特徴とするインクジェット記録方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

即ち、本発明の硬化性を有するインク組成物は、(A) 下記一般式 (I) で表される重合性化合物と、(B) (A) 成分とは構造が異なる重合性化合物と、(C) 光開始剤と、を含有し、前記 (A) 成分と (B) 成分との合計含有量が、インク組成物の全質量に対し 70 質量% 以上であることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

< (A) 一般式 (I) で表される重合性化合物 >

本発明の放射線硬化性インク組成物は、(A) 下記一般式 (I) で表される重合性化合物 (以下、適宜「特定重合性化合物」と称する。) を含有し、前記 (A) 成分と (B) 成分との合計含有量は、インク組成物の全質量に対し 70 質量% 以上、好ましくは、70 質量% 以上 90 質量% 以下である。